

がんばり！！

赤十字奉仕団情報誌 No. 19

平成 22 年度号



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新潟県支部

目次

P.1 目次

P.2 新潟県支部主催研修会 開催報告

- ①赤十字ボランティア基礎研修会
- ②赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

P.4 奉仕団活動

- ①新たに奉仕団を結成
「新潟市西蒲区赤十字奉仕団岩室分団」
- ②第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会
- ③新潟県総合防災訓練
- ④県内赤十字奉仕団の活動

P.8 講習普及事業より

ちびっこ海の安全教室

P.9 特集 「アルビレックス新潟とのパートナーシップ」

編集者あとがき



新潟県支部主催研修会報告

①赤十字ボランティア基礎研修会

5月から7月かけて、県内4地域を会場に基礎研修会を開催しました。

この研修会は、赤十字奉仕団に加入して間もない人を対象に、“赤十字とはどんな団体なのか” “ボランティアって何をしたらいいのか” など、基本的な項目を学ぶために開催しています。100名以上の方に参加いただき、赤十字や奉仕団について学んでいただきました。

・赤十字って何だろう？奉仕団って何？

・災害救護活動を知ってみよう

午前中は赤十字について学ぶ時間です。

赤十字は民間の救護団体であること、そしてその活動を支えているのはボランティアであることなどを学びました。



・赤十字クイズ

・健康生活支援講習「車いすや杖の使い方」

午後は午前に学んだ内容のクイズをしてからスタート。その後は健康生活支援講習(旧家庭看護法)から高齢者に起こりやすい事故や病気の話、車いすや杖の使い方を学びました。



②赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

昨年10月末に新潟市を会場にリーダーシップ研修会を開催しました。

毎年1回開催し、今年も県内全域から40名を超える奉仕団員に参加いただきました。

赤十字奉仕団のリーダーとして、よいグループ運営とはどういったものなのか等をグループワークを通して学んでいただきました。



七転八起「起」グループ
「リ」タメて留意「い」ちく「バ」ンと
思いやりの心 忍耐の心
団員も公平平等に
本人の資質を磨く情報発信

・救急法 グループ寸劇

・グループワーク「リーダーシップについて」

研修会は多くをグループで行う形式で行い、救急法では学んだ内容を寸劇にして発表し、大きな盛り上がりを見せていました。グループワークでは研修の題であるリーダーシップについて、様々な角度から話し合っていました。



奉仕団活動報告

①新たに奉仕団を結成

「新潟市西蒲区赤十字奉仕団岩室分団」



平成 22 年 7 月 22 日 新潟市西蒲区の旧岩室地域に新たに奉仕団が結成されました。分団長に就任した本間知子さんは「分団長に就任したが、一人では何もできない。今後とも多くの方々の協力をお願いしたい」と今後の活動への決意を述べておられました。



岩室産業まつりでの活動(α 米の配布)

②第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会

関東と山梨・新潟の青年赤十字奉仕団(若手の社会人や学生で組織された奉仕団)の代表者が長岡市に集まり、会議を行いました。

会議では、今年度から青年奉仕団が全国的に取り組んでいこうとしている HIV/エイズの問題等について話し合わせ、各都県の参加者は、自都県の状況を伝えながら、どのように取り組んでいけばよいか議論していました。



会議の後には、中越大震災の被災地視察を行いました。
新潟県以外の青年奉仕団員は被災地を初めて見たため、
被害の大きさを実感していました。

③新潟県総合防災訓練

魚沼市で開催された新潟県総合防災訓練に奉仕団が参加しました。



訓練参加奉仕団

【炊き出し】

南魚沼市赤十字奉仕団

南魚沼市塩沢地区赤十字奉仕団

【救急法体験】

新潟県赤十字安全奉仕団十日町分団・南魚沼分団

【通信訓練】

大和アマチュア無線赤十字奉仕団

④県内赤十字奉仕団の活動



糸魚川市で行われたイベントに市内の地域・安全・無線の各奉仕団が協力して参加し、赤十字 PR や体験コーナーなどを行いました。



燕市でも市内の奉仕団が協力して各種イベントに参加し、来場者への赤十字 PR や救急法や炊出しの体験していただきました。

講習普及事業より

ちびっこ海の安全教室

海水浴シーズンを迎えた8月。
危険なことも多い海で楽しく安全に遊ぶ
ため、子どもを対象にした海の安全教室
を開催しました。



海についてのクイズや、身近なものでできる救助道具の作成を行い、海に入ってから、水に
浮く方法や、救助に使用するレスキューボードの試乗をしたりしました。

ホームゲームで赤十字ブースを設置し、サポーターの方々に赤十字活動のPRを行いました。



特集①「アルビレックス新潟とのパートナーシップを締結」

日赤新潟県支部は平成 22 年度から「ひとづくり」「まちづくり」をクラブコンセプトに掲げるアルビレックス新潟と「地域貢献パートナー」として協力し、地域貢献活動で連携してきました。



また、選手が青少年赤十字加盟校を訪問し、子どもたちと交流を行いました。

編集者あとがき

平成 22 年度も残すところあとわずかとなりました。奉仕団の皆様には赤十字事業に多大なご支援をいただき、ありがとうございます。

今年度、日赤新潟県支部はアルビレックス新潟と地域貢献パートナーとなり、互いに連携しながら地域貢献活動を進めてまいりました。

ホームゲームでのブース出展では多くの奉仕団の皆様にご協力をいただき、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

また、新潟市西蒲区岩室に新たに奉仕団が結成されました。平成 23 年度には新潟市江南区亀田にも奉仕団が結成される予定となっており、赤十字奉仕団の活動が広がっていくことに大きな喜びを感じます。

日本赤十字社の活動は奉仕団の皆様によって支えられ、各地域における皆様の活動が赤十字活動の基本となっています。

私たち新潟県支部職員も人道の実現に全力を注いでまいりますが、奉仕団の皆様にもさらなるご支援をお願いいたします。

日本赤十字社新潟県支部
事業推進課 早川慎一

**「がんば！！」編集局では皆さんからの情報をお待ちしています。
紹介したい活動がありましたら、原稿に写真を添えて新潟県支部までお寄せください。
また、取材へも赴かせていただきますので、ご連絡お待ちしております。**

奉仕団情報誌「がんば」No. 19

平成 23 年 月 日 発行

発行所 日本赤十字社新潟県支部 事業推進課
〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 1-3-12
Tel. 025-231-3121 Fax. 025-231-3122
Mail. s-hayakawa@niigata.jrc.or.jp